

感染症情報 8月12日～18日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①手足口病	350例(堺市	19例)
②感染性胃腸炎	242例(堺市	9例)
③溶連菌感染症	160例(堺市	12例)
④RSウイルス感染症	82例(堺市	4例)
⑤ヘルパンギーナ	75例(堺市	5例)

府下306医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 35例(堺市 1例)

報告数による順位。前週比53.1%減の992件であった。お盆期間であったことを考慮する必要がある。手足口病が府下で59%減、堺市で前週105例→今回19例であった。感染性胃腸炎が府下で前週から51%減、堺市で前週46例→今回9例。溶連菌感染症が府下で48%減、堺市で前週43例→今回12例。RSウイルス感染症が府下で41%減、堺市で前週11例→今回4例であった。ヘルパンギーナが府下で50%減、堺市で10例→5例であった。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で67例→66例でほぼ横ばい。堺市で17例→13例であった。

インフルエンザが府下で前週81例→今回35例で57%減であった。堺市で前週8例→今回1例であった。

府下306医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 1,403例(堺市 171例)
大阪府定点 4.58 堺市定点 5.90

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
80	92	51	88	106	127	128	133	145	206	247	1403

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回2,329例→今回1,403例で40%減もこちらもお盆期間が含まれることを考慮する必要がある。定点当たり7.61→4.58。堺市で前週398例→今回171例は57%減、定点当たり13.72→5.90は大阪府のブロック別で Worst ではなかった。

麻疹や風疹の報告なし。